

繼 続 事 業 評 価

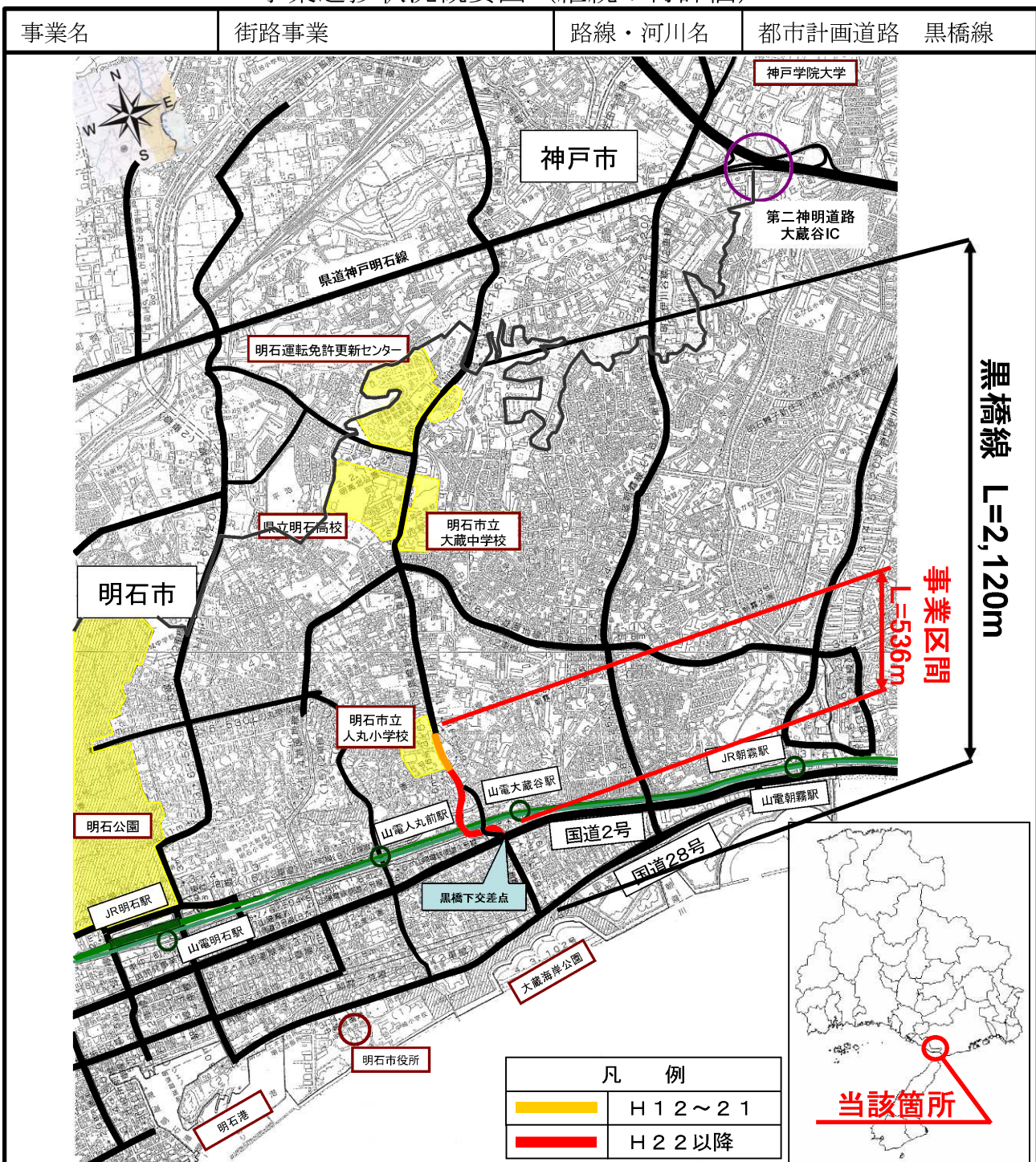
【 街 路 事 業 】

土木局街路課

投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	県土整備部土木局街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 池村 和己 (街路係長 下山 智)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	7.6億円
		都市計画道路 黒橋線	明石市東人丸町 ～大蔵中町	内用地補償費	2.9億円
所在地		事業採択 年度	着工 年度	完成予定 年 度	進捗率 (内用補進捗率)
明石市東人丸町 ～大蔵中町		H12	H12	H23	9.3% (100%)
事業の目的			事業内容		
<p>本路線は、明石市東部において南北交通を担う幹線道路であるとともに、臨海部の市街地から第二神明道路へのアクセス道路の一部を形成している。</p> <p>現在、国道2号との交差点が鋭角かつ急勾配となっているのに加え歩道が無いため、交差点形状を早急に改善するとともに歩道を設置することにより、交通の円滑化と安全性の向上を図る。</p> <p>また、本路線北側の沿道には運転免許更新センターがあり、路線バスの運行本数が多い(約470台/日)ことから、アクセス道路としての走行性・安全性の向上を図る。</p>			<p>道路改築（新設） L=536m</p> <p>現況：2車線 歩道なし W=6.0(7.0)</p> <p>計画：2車線 両側歩道4.5m W=6.0(16.0)</p> <p>平成13年都市計画変更</p> <p>交通量</p> <p>自動車 現況：7,098台/日 (H17年センサス)</p> <p>計画：11,600台/日 (H42年予測)</p> <p>歩行者 現況：261人/12h (H20年実測)</p> <p>自転車 現況：241台/12h (H20年実測)</p> <p>[負担割合 国5.5/10、県2.25/10、市2.25/10]</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	本路線の国道2号から国道28号の区間(L=263m)については、平成20年3月に明石市施行の街路事業で整備が完了し、同年3月末に供用開始されており、本区間の早期供用の必要性が高まっている。				
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画では、平成18年度に完了する予定であったが、以下の理由により遅延した。 <ol style="list-style-type: none"> ① 跨線橋架設ヤードの用地確保が難航 ② 跨線橋架設ヤードへの進入にあたっての沿道住民との騒音振動対策の調整が難航 ③ J R 及び山陽電鉄との協議により、跨線橋架設工法の変更 ・現在は、残用地補償は1件であるが、今年度契約締結すべく交渉を進めている。 ・工事は、工区北側150m区間は整備が完了しており、J R 神戸線及び山陽電鉄本線との跨線橋の架設も本年3月に完了し、現在は現道との取付工事及び橋面工などを進めている。 ・平成22年度には新橋へ交通を切替え、供用開始を行い、事業効果を発現させる。さらに、平成23年度は既設橋の撤去等を行い、本事業を完成させる。 				
評価視点	評価結果の説明				
(1) 必要性 ○安全・安心	国道2号との交差点が鋭角(交差角21°)かつ急勾配(縦断勾配6.9～8.2%)、急カーブ(曲線半径15m)となっており、特に路線バスのすれ違いなどに支障をきたしており、これを解消するとともに、本事業区間に歩道がないため、歩道を設置することにより安全性の向上を図る。				
○地域の活性化	本路線北側の沿道には運転免許更新センターなどがあり、本路線が路線バス運行経路となっており、運行本数が多いことから、アクセス道路として必要不可欠である。				
○快適性、ゆとり	両側歩道(幅員4.5m)を設置し、セミフラット化することで、快適でゆとりのある歩行空間を確保できる。				
(2) 有効性・効率性	道路線形、道路縦断及び交差点形状が改善されることで、バスなどの大型車両の走行性等の向上が期待できる。 費用便益比B/C=1.1(残事業B/C=14.3)				
(3) 環境適合性	車道は低騒音舗装により沿道への騒音を低減する。また、歩道は植樹帯や透水性舗装により沿道環境の改善を図る。				
(4) 優先性	国道2号～国道28号間は平成20年3月に整備が完了しており、本事業区間の整備により明石市東部における幹線道路網の形成と併せて安全で快適な道路空間の創出に寄与する。				
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と何ら変わっておらず、事業進捗率は9割を超えており、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	H12～23年度【事業費＝76億円】 延長：L＝536m、W＝16m、2車線	
過去10年間	H12～21年度予定【事業費＝71億円】 ・用地進捗率93%(H21年3月末) 100%(H22年3月末予定) ・新橋梁架設及び事業区間北側150mの整備完了済 ・斜路橋(歩道橋)架設予定(H22年3月末予定)	一部区間において歩行者等の安全性の向上を図ることができた。
今後2年間(予定)	H22年度【事業費＝4.5億円】 新橋梁前後の取付工事などを実施し、新橋梁への切替をおこなう。 H23年度【事業費＝0.5億円】 旧橋の撤去などを実施し事業完了予定。	交差点部や縦断勾配の改良及び歩道の設置による交通の円滑化及び安全性の向上を図ることができる。

黒橋線の整備の必要性



凡例

- 既存道路 (Existing Road)
- 計画道路 (Planned Road)
- 通学路 (School Route)

(都)黒橋線(L=536m, W=16m)

人丸小学校
東大丸町

縦断勾配
9.2% (現況)

縦断勾配
6.9~8.2% (現況)

<最急縦断勾配の改善>
9.2%→8.8%
(構造令を満足)

歩道がないため安全な歩行空間が確保されていない。
→<両側歩道設置>

曲線半径が小さく路線バスのすれ違いが難しい。
<曲線半径の改善>
R=15m→R=60m
(構造令を満足)

黒橋下交差点
<交差角の改善>
 $\theta=21^\circ \rightarrow \theta=90^\circ$

黒橋下交差点
<縦断勾配の改善>
8.2%→2.5%
(構造令を満足)

路線バスの運行
474台/日
(ピーク時:45台/時)

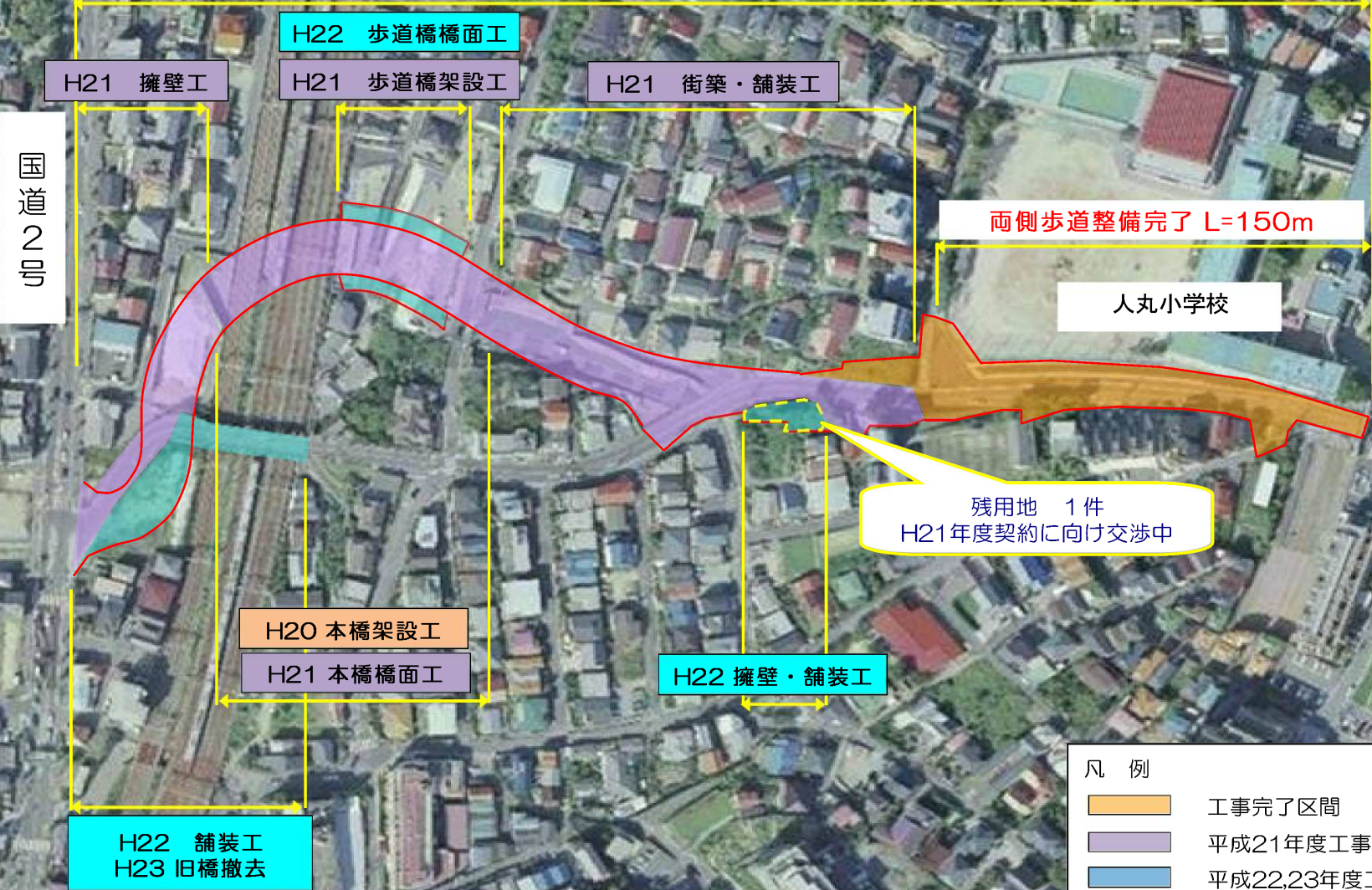
街路-3

国道2号 至 神戸

(都)黒橋線 事業進捗状況



事業区間 延長L=536m



凡 例	
	工事完了区間
	平成21年度工事実施区間
	平成22,23年度工事実施予定区間
	平成21年度用地買収予定箇所

街路-4

黒橋線 現況写真

バス左折状況(黒橋下交差点北側)



バスすれ違い(待機)状況: 跨線橋



街路-5

黒橋線 現況写真

混雑状況(跨線橋北側)



通学時の様子(両側歩道なし)



黒橋線 現況写真

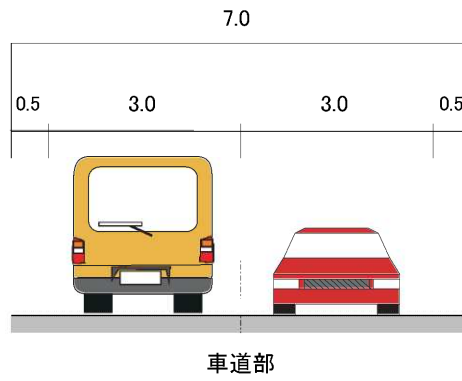
整備完了区間(人丸小学校付近)



工事進捗状況(新跨線橋)



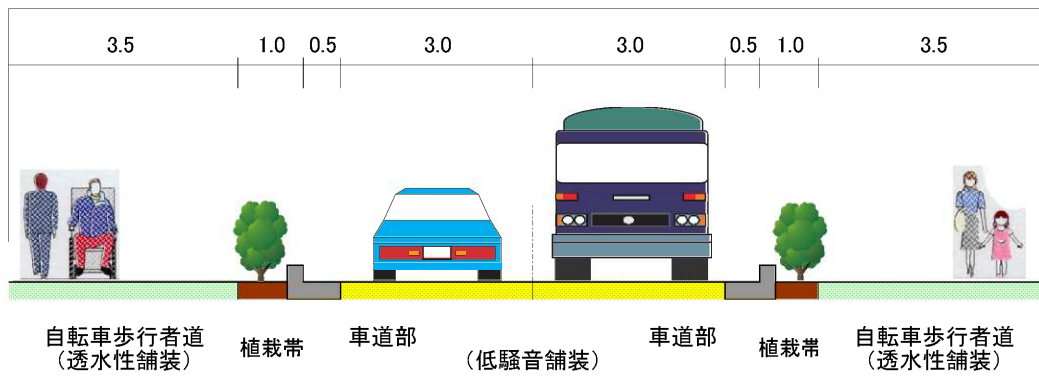
現況横断面図



計画横断面図

(一般部)

16.0



(交差点部)

19.0

